

POINT

補修する箇所に近い色のハードスティックを溶かして混ぜ合わせるなどで調色してください。薄い色から少しずつ濃い色へと溶かしていくのがポイントです。

えぐれキズ 引っかけキズ の場合



① 補修箇所の清掃

キズ口のバリは
カッターなどで
取り除きます。



② キズを埋める

床と同色のハード
スティックを
ホットナイフで
溶かして少し盛り
上がる程度までキズに流し
込みます。固まっていることを
確認してください。(約1分)

コテを使い直接
キズ口の中で色
を作れます。



③ 充填部分を平らにする

余分に付いた
ハードスティック
をゴシゴシ
スクレーパーで
擦って補修面を平らにします。

キズ口に直接置き
上下に擦って平ら
にして下さい。



④ 木目を描く

必要に応じてアートマーカー
で木目を描き足して下さい。

ナイロンパッドを
使い描いた木目を
馴染ませる事が出
来ます。

凹みキズ スリキズ の場合

※ハードスティック透明色（#901）をお使い下さい。



① 補修箇所の清掃

ナイロンパッド
を使ってキズ口
を軽く擦って
ください。



充填材の密着性
を上げることが
出来ます。



② キズを埋める

透明色のハード
スティックを
ホットナイフで
溶かして少し盛り
上がる程度までキズに流し
込みます。固まっていることを
確認してください。(約1分)



③ 充填部分を平らにする

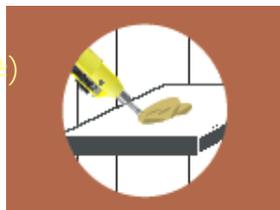
余分に付いた
ハードスティック
をゴシゴシ
スクレーパーで
擦って補修面を平らにします。

キズ口に直接置き
上下に擦って平ら
にして下さい。



ユニソフトを使い、
表面の質感や艶を
調整します。

垂直面の時は・・・
(例：ドア枠・窓枠)



垂直面に出来てしまったキズを補修するときには、パレット代わりになるような板の上で調色してください。その後、固まりきる前にゴシゴシスクレーパーですぐに補修したい部分に充填してください。

⚠ 使用上の注意

- ◆ 幼児の手の届かないところに保管してください。
- ◆ 直接日光、高温多湿の場所を避けて保管してください。
- ◆ 作業中の中断または終了後、ホットナイフ（電池コテ）のスイッチは安全のため必ず電源を切ってください。
- ◆ コテ先は高温になるため、指や体に触れてしまうと火傷をしてしまうおそれがありますので十分に気をつけてご使用ください。
- ◆ 作業中及び作業前後はコテの金属部分を可燃物に近づけないでください。不用意に近づけますと発火・火災の原因になるおそれがあります。
- ◆ 当製品（家族で補修屋さん）はフローリングなどの木質建材に出来たさまざまなキズを充填材で埋めて目立たなくする補修商品です。色・つや・質感などが完全に復元するものではありません。
- ◆ 補修箇所に近い色のハードスティックを溶かして混ぜ合わせるなどで調色してください。
- ◆ 当製品は床暖房フローリングには対応していません。耐熱仕様のハードスティックをお使いください。
- ◆ 商品の仕様は製造上の都合などにより、予告なく変更になる場合があります。

以下のような場合は当社責任に帰すものではありません。

1. 木材フローリング・ドア・窓枠の補修以外に使用された場合。
2. お客様の不注意で物品の破損や怪我をされた場合。